

1. わたしたちは、
2. わたしたちは孤独を愛したもつず—————と、
3. 長い間私は一人だった。
4. 孤独という青い宝石 一人でいることは、
5. かなしくなかった。
6. 誰にも邪魔されずにすべてが自分の時間だったし何をしても、
7. 笑われる心配がなかったそのことは、
8. 素敵だっと思つう。
9. 監視の目がなさ過ぎて自堕落に墜落する心配があつたがときどき、
10. 鏡を見ては反省して私は私を引き上げる努力をした 失敗！
11. することもあつたが自分で、
12. 自分のことが好きでいられるよう寛大に自分を許した。
13. 許した。
14. 迷いが無いと言えば嘘になるけど嘘をつく相手も目の前には存在しないしかたがないね、
15. どう自分が自分から愛されるかただそれだけに、
16. 気持ちを割いた自分の、
17. 声を忘れないように時々鼻歌を歌つた 太陽よりも、
18. 月を愛した 星空を、
19. よく見上げた。
20. ほ、
21. ん、
22. が、
23. 本が友達になつてくれた 本を、
24. 読む時には私はさらに自由になつた 想像力の、
25. 翼は私をはるか遠くまで運んだと—————くまで、
26. 私は飛んでいくことが出来たしあるいは、
27. 時間の壁をやすやすと越えたのだった。
28. 好きな時に、
29. 眠る。
30. 見る夢も多種多様で私は、
31. 現実世界よりさらに自由で 月に、
32. 行つてウサギを追いかけたり海に、
33. 潜つてクジラに呑み込まれたり エッチな、
34. 夢も見ただとそれはここでは内緒で でも夢の中でも、
35. なぜだか私は一人だった 一人、
36. だった。
37. 今は違つて。
38. 偶然が偶然を呼んであなたに出会えた 私と、
39. 同じ孤独を愛したあなたに会つて 私達は、
40. 1人から2人になつた 大変、
41. 残念なお知らせですが実はもうワタクシ、
42. わ、
43. た、
44. く、
45. し 孤独では、
46. もう孤独ではありません わたしたちは、
47. かつて孤独を愛したもつず—————と、
48. 長い間私は一人だったそれこそが、
49. それこそ、が、今の、私、を、・・・

『私達は孤独を愛した』

自分で勝手に句読点をつけない。伸ばす所、一音一音区切るところは明瞭な音で。